

令和5年度法務省委託事業

～ハンセン病問題を次世代に伝える～  
『親と子のシンポジウム』

# 報 告 書

# 令和5年度法務省委託「～ハンセン病問題を次世代に伝える～『親と子のシンポジウム』」実施完了報告

## 1 実施概要

- (1) テーマ： ～ハンセン病問題を次世代に伝える～「親と子のシンポジウム」
- (2) 日時： 令和5年11月11日（土）午後1時30分～午後4時
- (3) 形式： オンライン（リアルタイム）配信  
コモレ四谷タワーコンファレンス  
（東京都新宿区四谷1-6-1 コモレ四谷 四谷タワー3階）をメイン会場として配信
- (4) 対象者： 一般市民（事前申込不要、参加無料）
- (5) 主催： 法務省、厚生労働省、文部科学省、全国人権擁護委員連合会、東京法務局、東京都人権擁護委員連合会、公益財団法人人権教育啓発推進センター
- (6) 後援： 中小企業庁、全国ハンセン病療養所入所者協議会、ハンセン病違憲国家賠償請求訴訟全国原告団協議会、ハンセン病家族訴訟原告団、東京都、東京都教育委員会、東村山市、東村山市教育委員会、特別区長会、東京都市長会、東京都町村会、NHK、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、日本経済新聞社、産経新聞社、共同通信社、時事通信社、日本財団（順不同）
- (7) 内容：
  - 主催者挨拶（10分）
  - 動画上映（10分）  
人権啓発動画「ハンセン病問題を知る ～元患者と家族の思い～」  
※一部抜粋（森 和男さんのエピソード）
  - 基調講演（15分）  
山岡 吉夫（国立療養所多磨全生園入所者自治会会長）  
※多磨全生園よりリモートで登壇
  - パネルディスカッション（45分）
    - ・テーマ「ハンセン病の元患者やその家族が安心して暮らしていくには」
    - [コーディネーター]  
町 亜聖（フリーアナウンサー/元ヤングケアラー）
    - [コメンテーター]  
内田 博文（全国人権擁護委員連合会会長、国立ハンセン病資料館館長）  
金 貴粉（国立ハンセン病資料館学芸員）  
山岡 吉夫（国立療養所多磨全生園入所者自治会会長）
    - [パネリスト]  
松葉 悠乃（第41回全国中学生人権作文コンテスト・内閣総理大臣賞 受賞者）  
木村 直（東京藝術大学美術研究科先端芸術表現専攻修士課程在籍、写真家・アーティスト）  
太田 明夫（ハンセン病問題を共に学び共に闘う全国市民の会会長）
  - トークショー（40分）
    - ・「ハンセン病について学ぶ」
    - [コーディネーター]  
町 亜聖
    - [コメンテーター]  
内田 博文  
山岡 吉夫  
金 貴粉

〔登壇者〕

横溝 菜帆 (俳優)

松葉 悠乃

木村 直

●ビデオメッセージ (45分)

豎山 勲 (ハンセン病違憲国家賠償請求訴訟全国原告団協議会事務局長)

屋 猛司 (全国ハンセン病療養所入所者協議会会長、国立療養所邑久光明園入所者自治会会長)

ハンセン病家族訴訟原告 代表 原告番号21番

●閉会

## 2 目的

ハンセン病問題に関する正しい知識と理解は、いまだ十分とはいえず、かつて採られた国の強制的な隔離政策により作出・助長されたハンセン病患者・元患者やその家族に対する偏見・差別は、今なお社会に根深く残っている。

そこで、当事者やハンセン病問題に関わってこられた方々の声を聴き、ハンセン病問題を決して風化させることなく、その正しい知識と理解を次の時代を担う人々に伝えていくとともに、偏見・差別は身近な場面でも起き得ることを前提に、同じ過ちを繰り返すことなく、偏見・差別のない社会を実現するためにはどうしたらよいか、親子で考えていくためのシンポジウムを開催する。

## 3 参加者数等

732人 (YouTube「ユニーク視聴者数」)

※参考：同「視聴回数」1,273回

同「最大同時視聴者数」138人

同「インプレッション数」14,000回

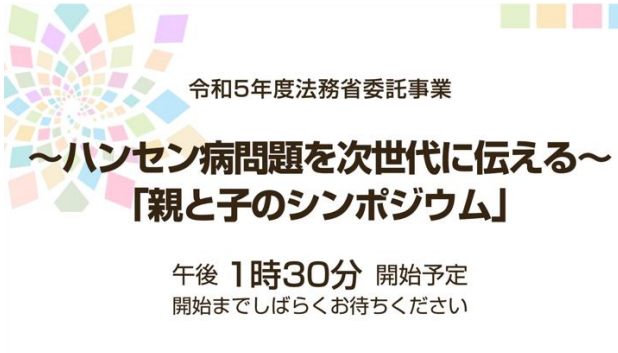
※2週間後の結果

1,391人 (YouTube「ユニーク視聴者数」)

参考：同「視聴回数」2,183回

同「インプレッション数」48,000回

#### 4 配信の様子



ライブ配信前：案内



主催者挨拶1 法務省



主催者挨拶2 厚生労働省



主催者挨拶3 文部科学省



基調講演・コメンテーター：山岡 吉夫（国立療養所多磨全生園入所者自治会会長）



コーディネーター：町 亞聖（フリーアナウンサー/元ヤングケアラー）



コメンテーター：内田 博文（全国人権擁護委員連合会会長、国立ハンセン病資料館館長）



コメンテーター：金 貴粉（国立ハンセン病資料館学芸員）



パネリスト・登壇者：松葉 悠乃（第41回全国中学生人権作文コンテスト・内閣総理大臣賞受賞者）



パネリスト・登壇者：木村 直（東京藝術大学美術研究科先端芸術表現専攻修士課程在籍、写真家・アーティスト）



パネリスト：太田 明夫（ハンセン病問題を共に学び共に闘う全国市民の会会長）



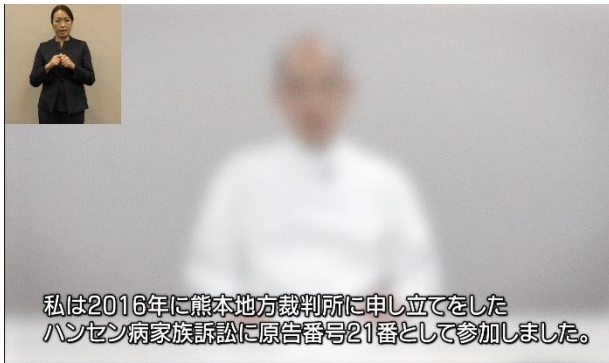
登壇者：横溝 菜帆（俳優）



ビデオメッセージ：堅山 勲（ハンセン病違憲国家賠償請求訴訟全国原告団協議会事務局長）



ビデオメッセージ：屋 猛司（全国ハンセン病療養所入所者協議会会長、国立療養所邑久光明園入所者自治会会長）



ビデオメッセージ：ハンセン病家族訴訟原告  
代表 原告番号21番

#### 別添

- ・当日配布資料（ダウンロード用プログラム）
- ・アンケート集計結果
- ・採録記事（紙面イメージ）

#### 5 オンライン（アーカイブ配信）

本シンポジウム終了後、YouTube 人権チャンネルにおいて、オンライン（アーカイブ）配信を実施。（令和5年11月11日（土）の公開から1年間限定）

2023.11.11 令和5年度「～ハンセン病問題を次世代に伝える～『親と子のシンポジウム』」

<https://youtu.be/P276Vt03VrI?si=20wymo183sXs13he>